

芦北町

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

情報化やグローバル化などの急激な社会的変化の中でも、児童生徒が未来の創り手となるために必要な資質・能力を確実に備えることのできる教育環境構築のため、整備された1人1台端末の利活用によって主体的・対話的で深い学びの実現を目指してきた。

本町教育理念である「温故創新(古きを学び知り、生きる力を培い、新しさを創る)」を基に、子どもたちが広く見聞を広げ、個人の生きる力・活力を充実させ、持続可能な社会の創り手として成長できるよう、1人1台端末を効果的に利活用し、個々の理解度や学習ペースに合わせることで、より一人一人の児童生徒の実態に応じた学習計画に基づく学びを目指す。

2. GIGA 第1期の総括

(1)経緯と現状

国の GIGA スクール構想を踏まえ、令和2年度に全児童生徒分の1人1台端末及び全学校における通信ネットワーク等を整備した。また、学校現場における教科や学習場面に応じた情報の収集・理解・整理・発信・共有及び個別の学びのツールとして1人1台端末の日常的な利活用を図るとともに、1人1台端末の家庭への持ち帰りにより、長期休業中の課題やデジタルドリル等を用いた家庭学習など、様々な場面で活用することで児童生徒の学習意欲の向上及び学習環境の整備に努めた。自宅に通信ネットワークが整備されていない児童生徒については、モバイルルーターの貸出しを行った。

(2)ICT 施策の実施内容

ICT 機器の運営支援を業者に委託し、ネットワークトラブル等の早期解決や学校の要望に応じた ICT 機器の操作の仕方の指導など、児童生徒の学習環境に支障が生じないように努めるとともに、児童生徒に情報活用能力を身に付けさせるための教職員の ICT 活用指導力の養成を図った。

(3)課題

授業や校務での ICT 活用に教職員間で差があることが課題として挙げられる。

3. 1人1台端末の利活用方策

令和2年度に整備した1人1台端末は導入から4年となるが、日常的な授業や家庭での使用に支障はほとんどでない。より高度な ICT 環境下での教育を推進し、1人1台端末環境を引き続き維持するため、令和8年度に全児童生徒分に予備機を合わせた 972 台の端末更新を行う予定である。

また、第 1 期で明らかになった課題を踏まえ、端末の利用や運用の質を向上させるための具体的な対策と改善策を検討する。

(1)1人1台端末を積極的に活用するために

全国の好事例の共有や互見授業の実施を通じて、教職員の ICT 活用指導力の向上を図る。また、既存の授業支援アプリの活用を推進し、効果的な授業を支援する。さらに、ICT 端末の用いた家庭学習を充実させるべく、AIドリルの導入などの支援体制強化も検討している。

(2)個別最適・協働的な学びの充実を図るために

1人1台端末を活用し、児童生徒の課題解決能力や国際感覚、英会話能力の向上を目指す。今後はデータの可視化を活用して個別最適な指導を実現するとともに、研修などを通じて教職員一人一人のICT活用能力向上による事務負担軽減を実現し、児童生徒と向き合う時間の確保を図る。

(3)全ての児童生徒の学びを保障するために

全ての児童生徒が平等に教育を受けられるよう、ICT端末を活用した授業を推進しているが、不登校対策が課題となっている。今後は1人1台端末へ心や体調の変化の早期発見や、適切な支援を行うためのアプリ導入を検討し、児童生徒が安心して過ごせる学校環境を整備していく。